

男性育児推進セミナー アンケート集計結果

【実施日】平成29年12月18日（月）

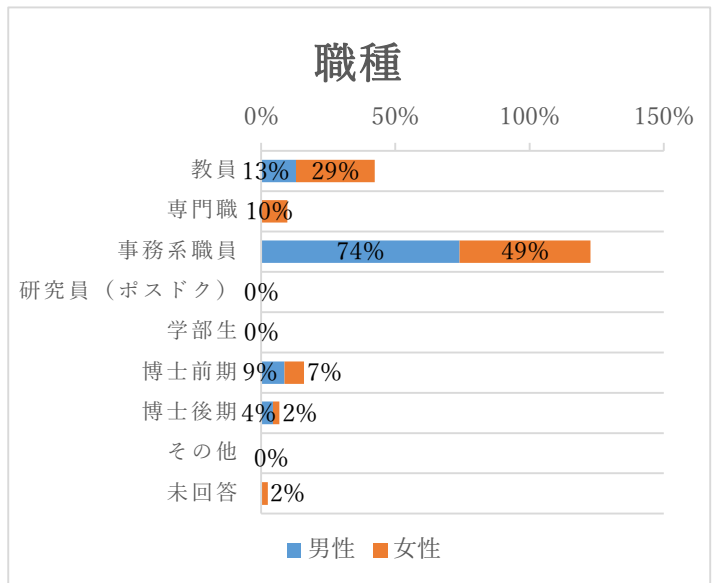
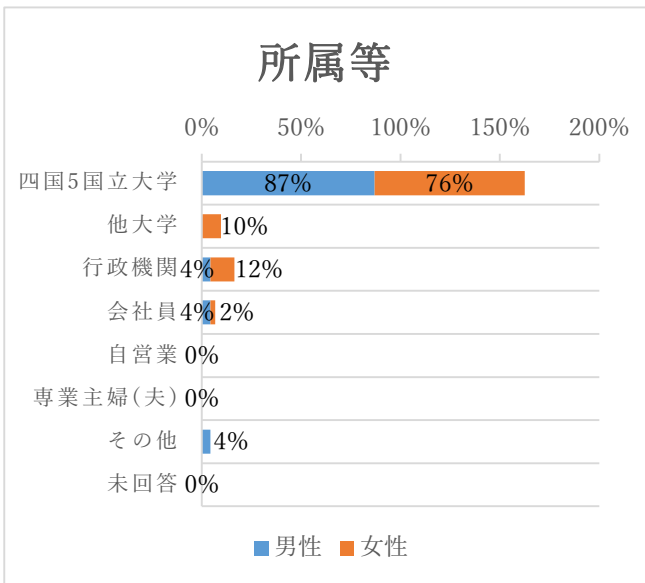
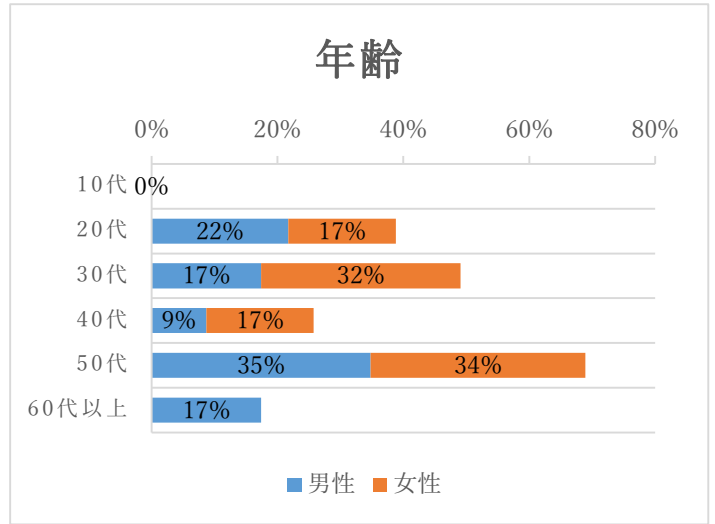
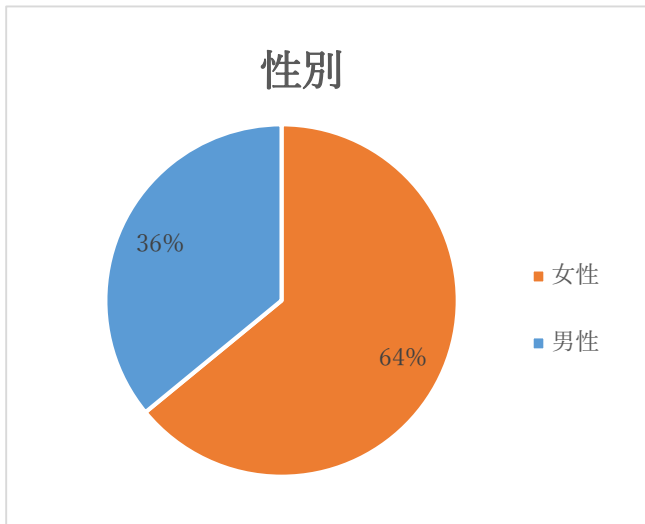
【時間】15：40～16：30

【実施場所】藤井節郎記念ホール

【回答率】（男性）43%

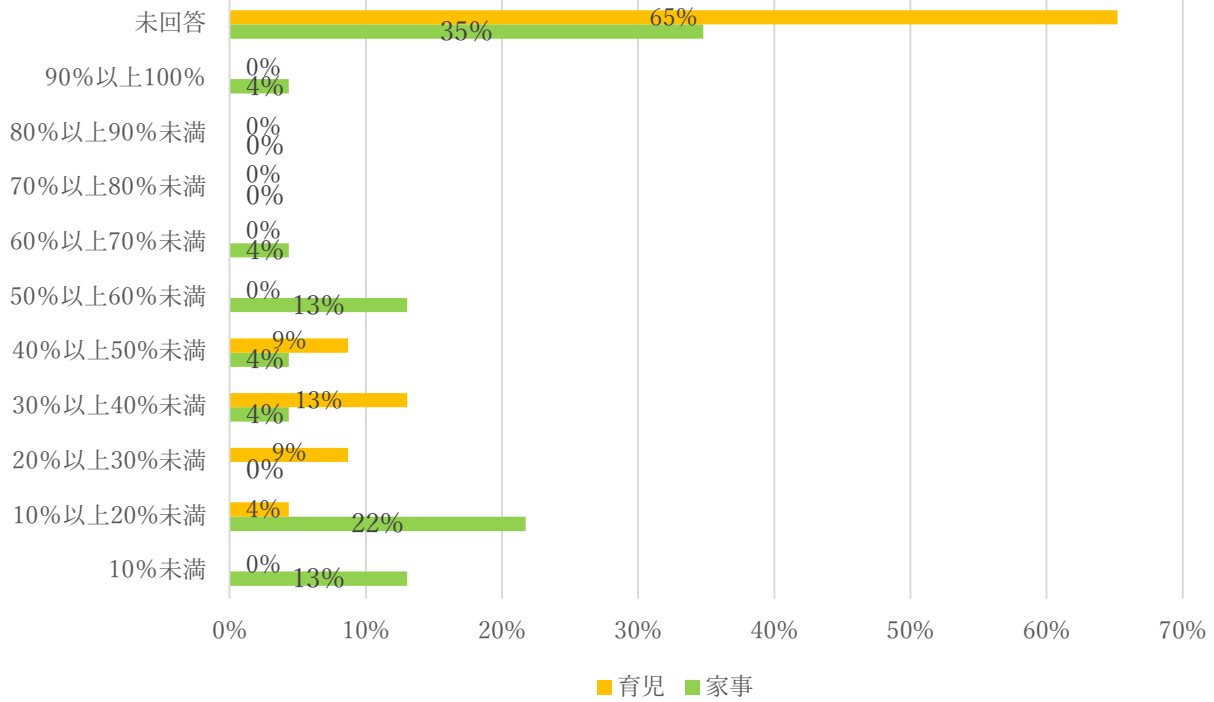
（女性）38%

問1. あなたご自身のことについてお伺いいたします。該当する□にチェックをいれてください。

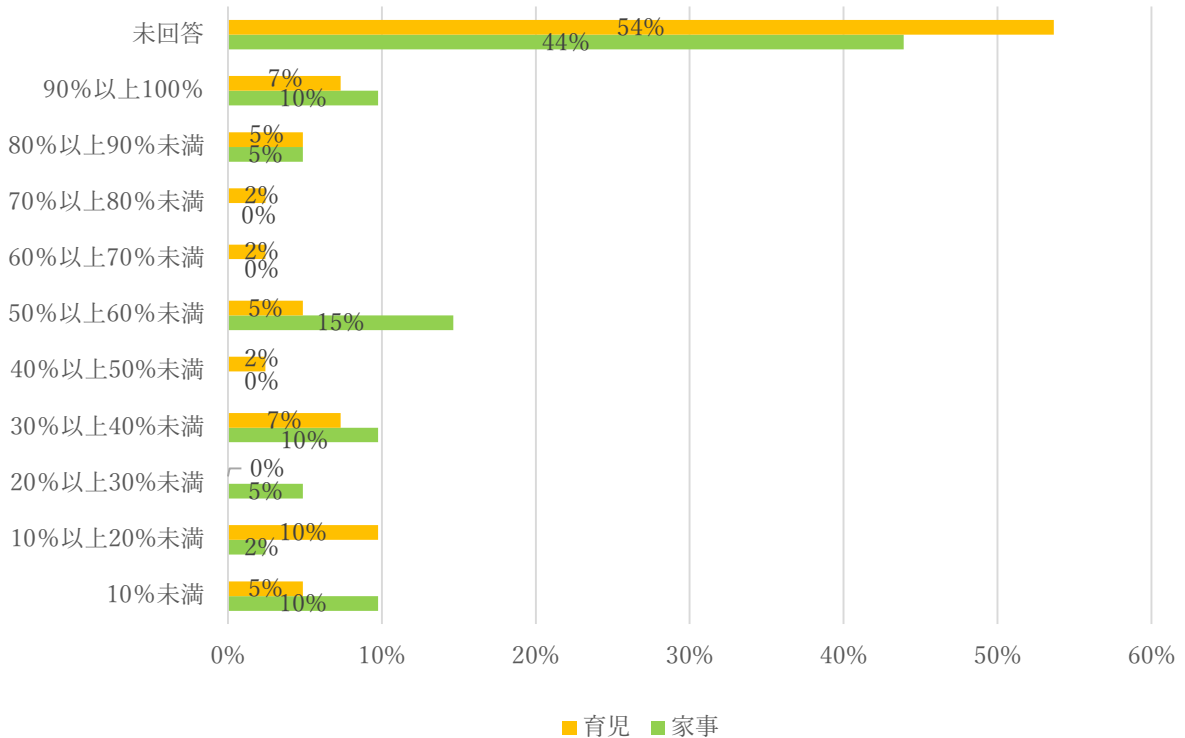


あなたは（女性の場合は夫は）現在どの程度家事・育児を行なっていると思いますか。
 それぞれ全体100%とした場合のあなたの（夫の）関わる割合

家事・育児の現状（回答者：男性）

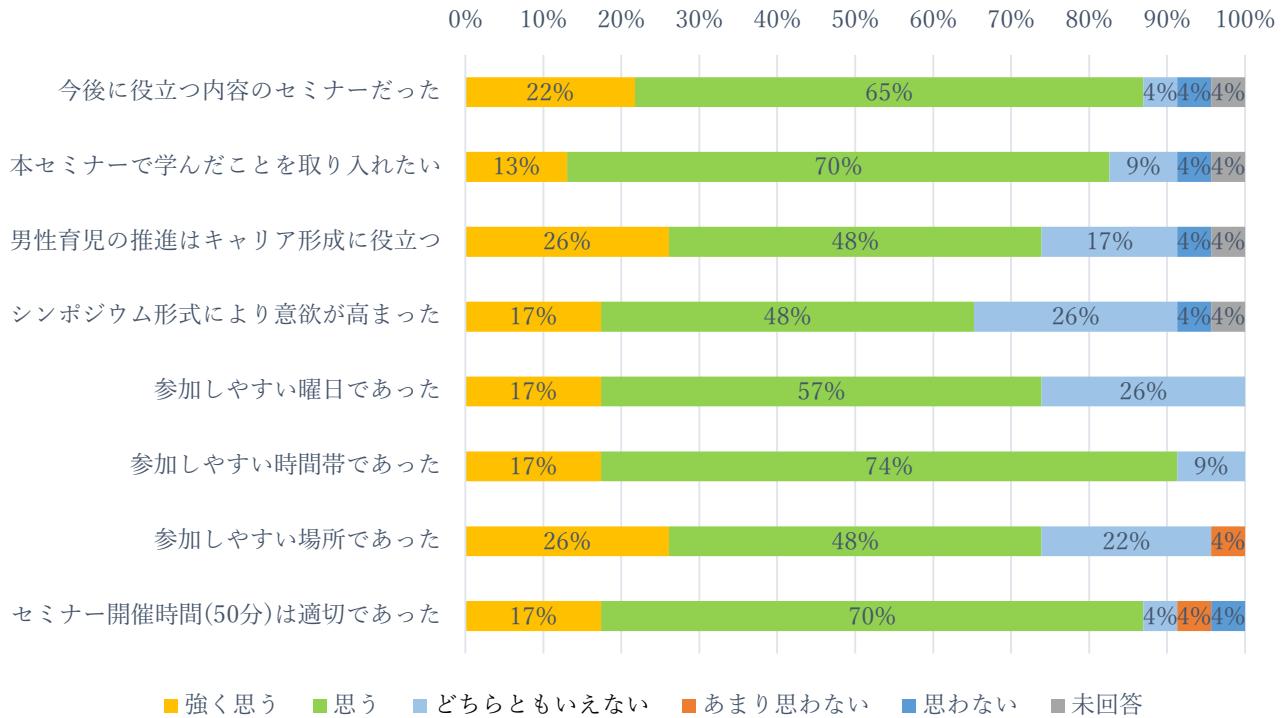


家事・育児の現状（回答者：女性）

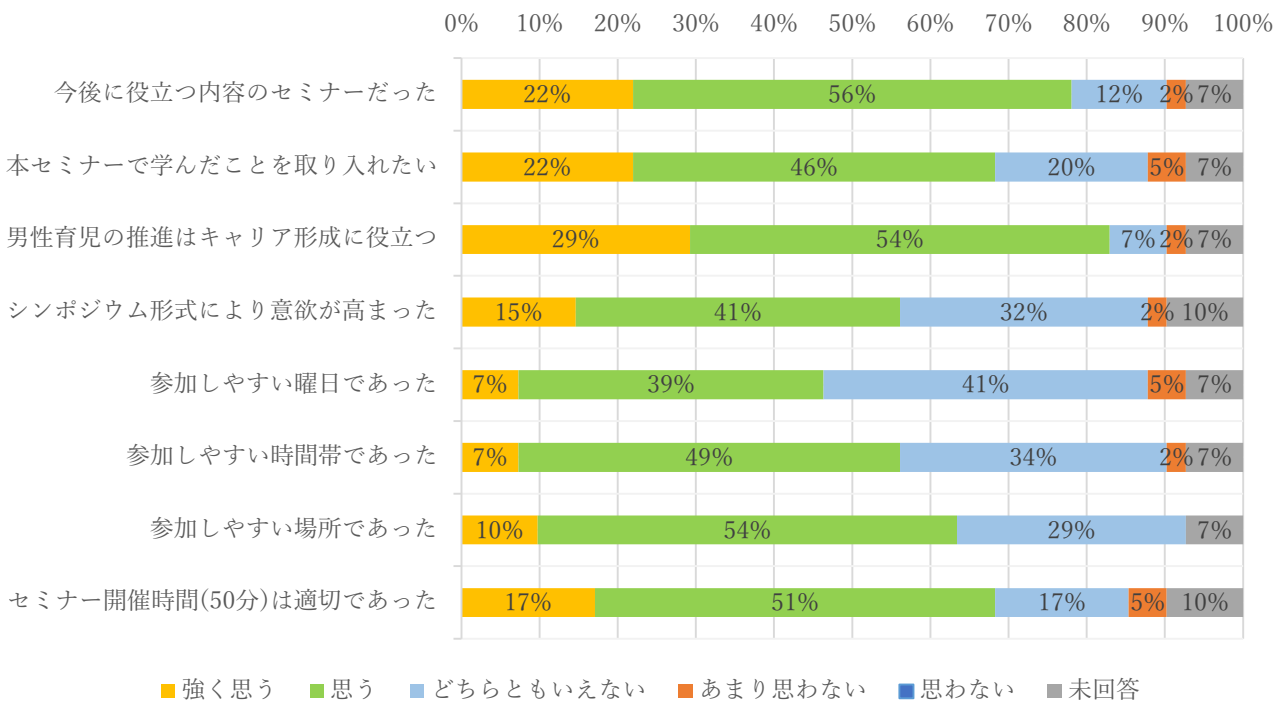


問2. 以下の質問事項について、該当する評価の□にチェックをいれてください。

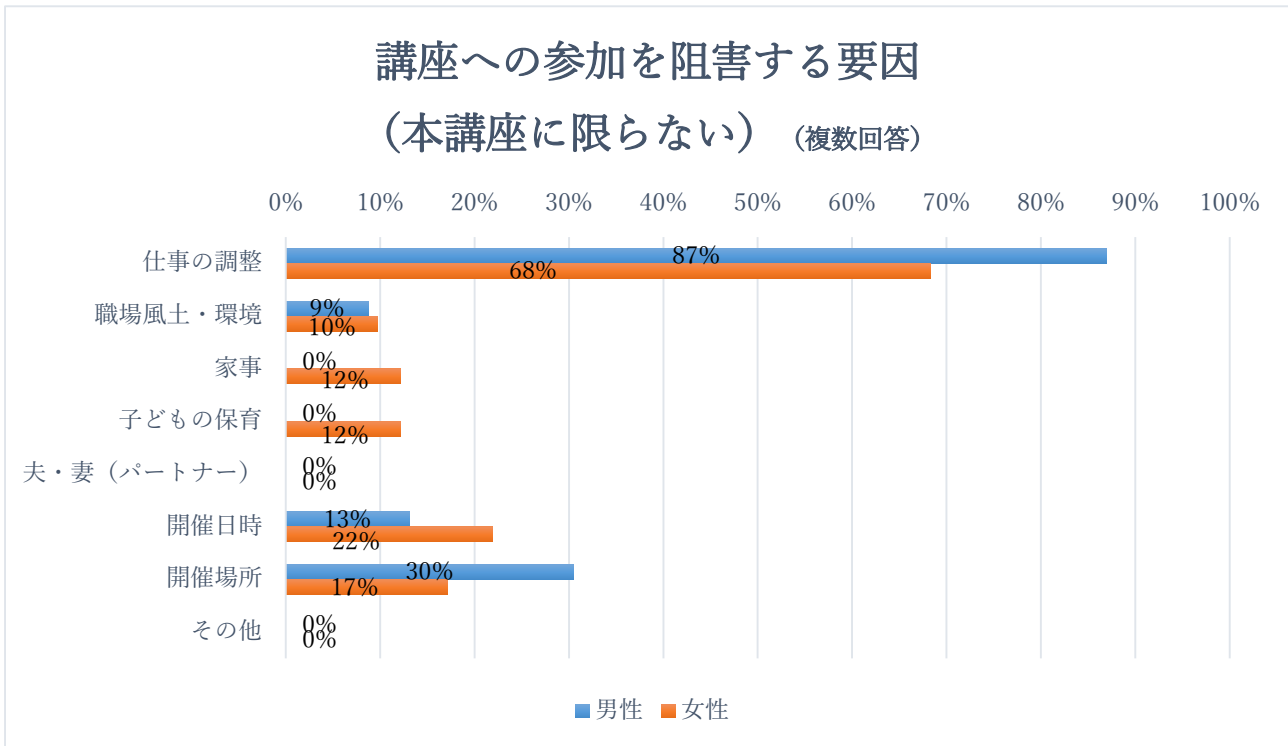
評価について(男性)



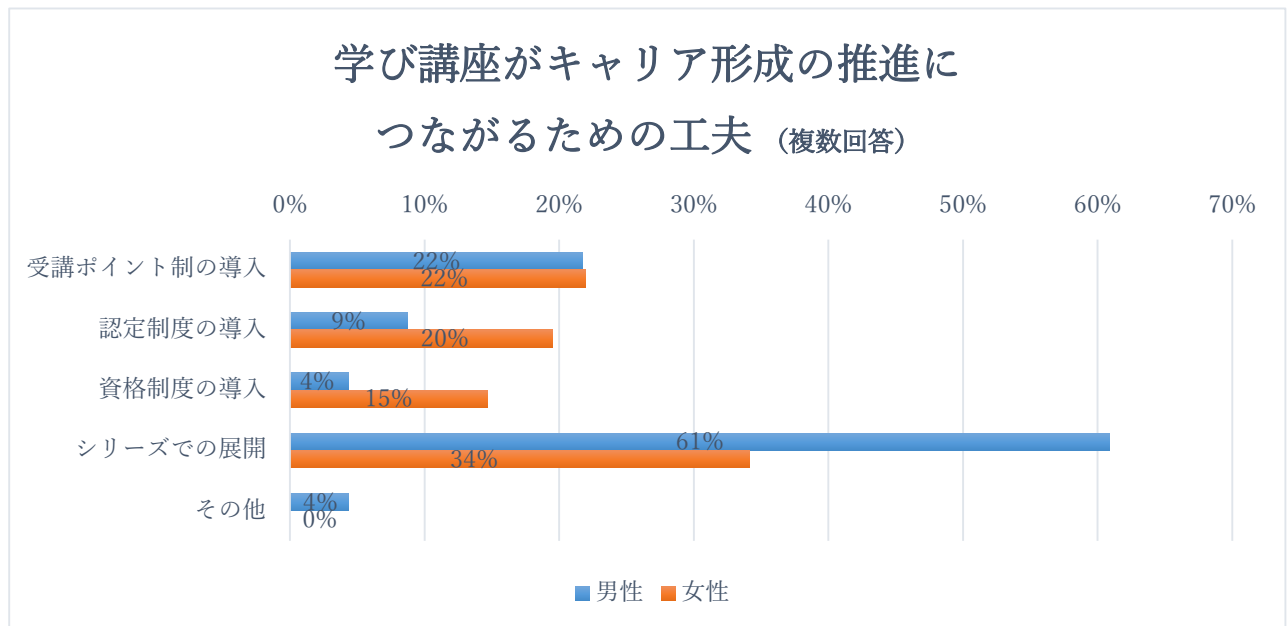
評価について(女性)



問 3. あなたのセミナーへの参加（本講座に限らない）を阻害する要因はありますか。
該当するものすべてにチェックしてください。



問 4. 学び講座が、キャリア形成の推進に繋がるための工夫として適当と思うものすべてにチェックしてください。



【その他：男性】

- ・本人の自覚度チェック

問 5. 本セミナーに参加して、キャリア形成支援の視点からお気づきの点・ご意見がございましたらご記入ください。

【男性】

- ・女性が働きやすい環境の職場であることは、大切なことと思います。一方で育休や時短勤務のしわ寄せが男性にいとってしまうと、逆に男性の家事・育児参画が阻害される要因にもなってしまうと思います。
- ・キャリア形成の面に繋がったか分かりませんが、お話はとても聞き易く面白かったです。

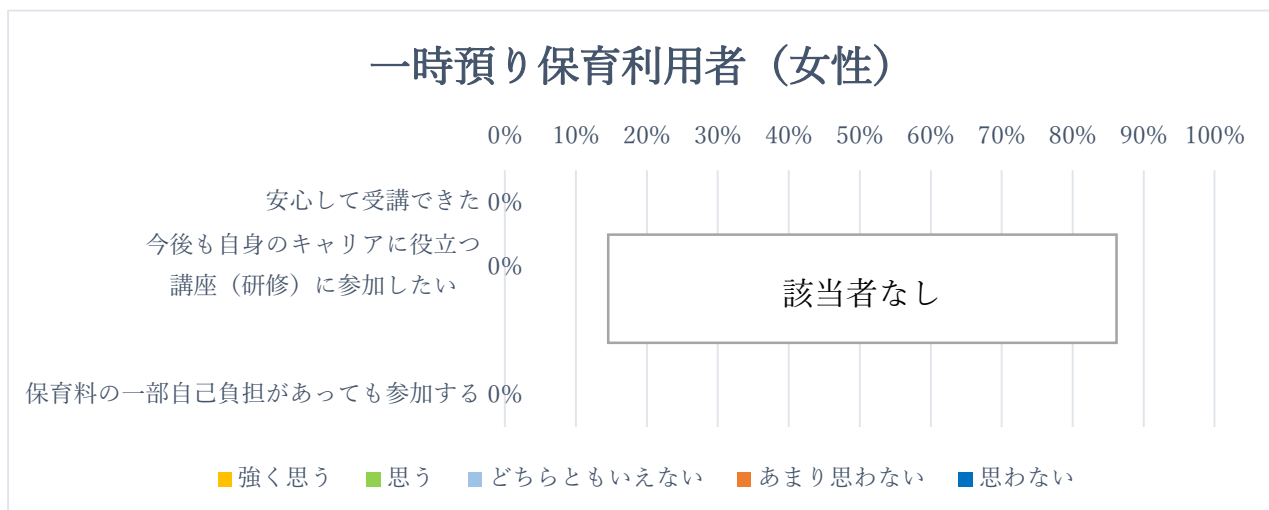
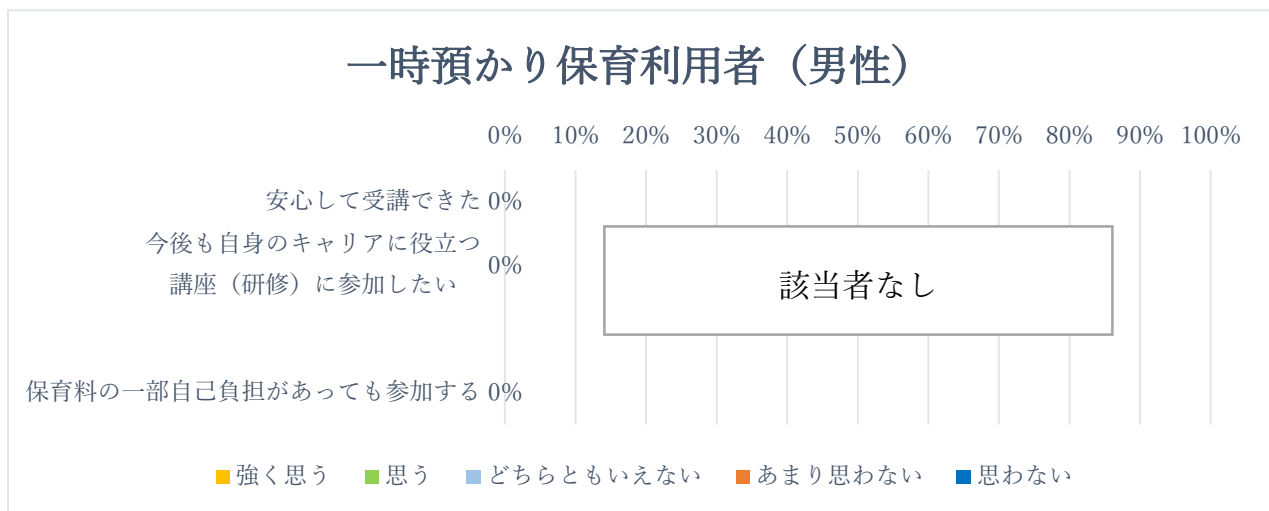
等

【女性】

- ・家庭生活を上手くやり繰りするための知恵や知能を磨くことが、男女ともに両立のために欠かせないと感じました。
- ・男性・女性に関わらず、仕事と育児両方に無理なく取り組めたら、キャリア形成にもっとつながると感じた。また、皆が思っているよりも多くの男性が育児・家事を女性と一緒にしていると感じている。若い世代では特に多いと思う。

等

問 6. 一時預かり保育を行なわれた方にお伺いします。



問 7. 何かお気づきの点、上記目的を達成するために有用と思われる企画などがありましたらご記入下さい。

【男性】

- ・もう少し時間に余裕を取った方がよいような気がしました。もっと話を聞きたかったと思います。とても参考になりました。
- ・働くための環境作りが大切だと感じた。大学で配慮すべき事項だと思う。

等

【女性】

- ・管理職に就く人に対して、義務化した方がよい。
- ・家族の協力は不可欠なことは当然ですが、負担が他の一部の方に集中することをお互い様の一言ではすませられないので、職場の他の方へ負担が増えることを当然と考えるのは問題と思います。

等